

切磋琢磨Ⅲ

R2.9.3 第19号

「考える子」の実践2 ～F1(ふたがわん)グランプリ開催～

運営委員会からの提案で実現した新企画

本年度は「密」を避けるため、今まで全校児童が集まって集会をすることができていません。運営委員会のメンバーは、6月に学校が始まると、今までどおりの行事運営ができない事実を受け止め、代わりに、何ができるかを一生懸命考えていました。校長室に相談に来たこともあります。担任や委員会担当の先生とも話し合い、アンケートでみんなのアイデアを募り、実現可能でみんなが楽しめるような企画をしようと、7月から動き出しました。

その結果、F1(ふたがわん)グランプリ「みんなの特技を紹介する企画」を開催することになりました。テレビ放送で、二川っ子の特技を発表していくという企画です。

第1回目は、原和奏さんのトランペット演奏でした。素敵な音色で「飲みの歌」を披露し、全校児童への「自分の特技を発表しよう」という意欲づけになりました。第2回目は、6年生が中心となって、多才な技能を發揮しました。司会は、運営委員長鈴木木大弥さん。蝶ネクタイもばっちり決めて、出演者を盛り上げてくれました。今回の披露は…

- ・加藤美風さんの超かっこいい「バク転」。
- ・白井沙季さんのピアノと久正先生のパーカッションで息の合ったコラボの「校歌演奏」。
- ・岡田大河さん & 入江正太さんコンビの「お笑い」
- ・1組有志(杉浦慶祐さん、加藤美風さん、久田亜彩子さん、小川大輝さん、下司拓海さん)による『「オシャレス「おせち編」」

6年生の皆さんが率先して出演してくれました。圧巻な特技披露であったり、みんなの笑いを誘う楽しい企画であったりと、大成功でした。

「僕も、私も、やってみた〜い！」とあちこちの学年から声が上がっているそうです。次回のF1グランプリもとても楽しみです。人前で発表するというのは、発信力を高め自分に自信をもたせるのにはとてもよい機会です。

校長先生も小学校3年生の時に、童謡「子鹿のバンビ」をテレビ放送で歌って、準優勝になりました。今にして思うと、この経験が自分に自信をもち、人前に出ることに対して抵抗が少なくなったきっかけであったように思います。発信する力は、発信する経験を積み重ねていくことで身につけてきます。今回、出演してくれた人たちやこの企画を実現させた運営委員の人たちの企画力にもエールを送ります。

第2回避難訓練(9/2)

昨日2限に避難訓練を行いました。学校で地震と火災に遭遇した時、どうやって避難するかという想定です。一時避難場所を運動場と設定して行く予定でしたが、朝から熱中症指数は25℃を上回ったため、屋外への避難は中止しました。コロナ対応のため、体育館に集合ということも避け、学級内で点呼・報告としました。非常時の「シェイクアウト」は、かなり子どもたちに浸透しているようです。

どこで大きな災害があるかは誰もわかりません。有事に「自分の命を守る行動」を今のうちから身につけておくと、きっと役立つはずですよ。では、学校以外で災害にあったときはどうすればよいのでしょうか。

登下校中に大地震が起きたら？

裏面に掲載したのは、登下校中の地震への対応の仕方です。大人がいない中で大地震に遭遇した場合、まず子どもたち自身が、「自分の命を守る」行動ができなくてはいけません。学校での地震やその他の災害への対応は、年数回行っている避難訓練で確認をしています。特に、先生がいないときの対応は例年3回目に行っています。

今回は、学級指導で登下校中の避難の対応について指導をしました。ただ、個々に通学路が異なりますので、これを機会に、登下校中の対応について考えましょう。

以下の空欄に記入できるように、家族で話し合いができると、いざというときに役立つはずですよ。

わたしのひなのしかた

家の人と、はなしあってかましましょう。



学校 <small>がっこう</small> にいるとき	が、むかえにきます。
家 <small>いえ</small> にいるとき (おとなもいる)	ひなん場所 <small>ひなんばしょ</small>
子どもだけで 家 <small>いえ</small> にいるとき	
あそんでいるとき よくいる場所()	
家 <small>いえ</small> そくがはなればなれに なったときの、しゅうこう場所	

床どは、地ちは、家いえそくが離はなればなれのときに起きることも考えられます。そんなときにあわてないように、ふだんからお互いの連絡方法やひなん場所を話し合っておきましょう。

将来は、二川をはじめ居住する地域の大人として、率先した避難活動ができる人になってほしい。そんな願いも込めた避難訓練や安全指導をこれからも行っていきます。